

ふ・れあい

Human♥Communication

2014
1月・冬号

Vol.15

人と心に響き合う

清恵会グループ広報誌

FREE

ご自由にお持ちください



血管のスペシャリスト

特集

末梢血管外科

健康と美容の
ワンポイント!アドバイス **腰痛**

 社会医療法人 清恵会

特集

血管のスペシャリスト

末梢血管外科

清恵会病院の外科診療は、消化器疾患や呼吸器疾患はもとより、心臓疾患、大動脈疾患、末梢血管疾患など血管外科の領域にまで及びます。中でも、地域のニーズに対して専門の医療機関が少ないという「末梢血管外科」について、専門医である当院の近藤医師に話を聞きました。



清恵会病院
救急部長兼外科部長代理
近藤 禎 晃

人間の血管の全長は約10万kmといわれています。地球およそ2周半という長さの血管が体内に張り巡らされていて、そこを流れる血液は1分ほどで体内を一巡りするというから驚きです。ご存知の通り、血管は大きく二種類に分けられ、心臓から全身へ血液を運ぶ血管が動脈、全身の血液を心臓へ戻す血管が静脈です。「末梢血管」とは、読んで字のごとく、木の枝のこずえのような末端の血管であり、主に手や足の動脈・静脈をいいます。診療分野では、心臓血管外科の中の一つの専門分野が末梢血管外科です。

今回は、末梢血管外科の対象疾患である下肢静脈瘤、閉塞性動脈硬化症、そして血液透析のシャント造設術についてご紹介しましょう。



足の血管が浮き出ている—
それは下肢静脈瘤かも
しれません

足の末梢血管に伴う疾患で、よく見られるのが下肢静脈瘤です。静脈には血液の逆流を防ぐための逆流防止弁というものがあります。運動不足や立ち仕事などで血液が滞って血管に負担がかかり、弁の機能が低下したり、弁が破損したりして起こる病気です。加齢も原因の一つです。発症すると、個人差はありますが、足の血管が浮き出てボコボコとコブのようになり、むくみ、だるさ、冷え、かゆみ、こむら返りなどの症状が現れます。進行すると痛みを伴い、湿疹や皮膚炎など皮膚にも影響が出て、重度になると静脈が異常に腫れて出血しやすく、皮膚が弱って色素沈着や潰瘍になります。

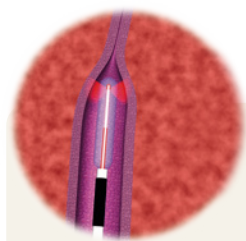


下肢静脈瘤の一例

いくつかの方法があります。新しい治療法として急速に普及しているのがレーザー焼灼術で、その最も良い点は、状態にもよりますが日帰りが可能で、術後の傷跡も小さく目立たないということです。2011年から健康保険も使えるようになりました。清恵会病院は2012年9月に「下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設」として認定された医療機関であり、また、その実施医として認定されているのが近藤医師です。

「レーザーによる治療は美容整形の分野でも多く用いられていることから、美容整形外科や皮膚科のクリニックなどが下肢静脈瘤のレーザー焼灼術を行うこともあるようです。確かに、下肢静脈瘤は命に関わる病気ではありませんが、進行すると見た目も痛みもひどく、場合によっては合併症を引き起こすなど、深刻な状態になりかねません。や

レーザー焼灼術



静脈の中に細いファイバーを通して疾患のある箇所をレーザーを照射し、その熱で血管を内側から焼いて閉塞させます。焼いた血管は数カ月で周りの組織に自然に吸収されます。(図はイメージ)

はり、血管の病気は血管の専門医に、末梢血管外科というスペシャリティーにゆだねてほしいと思います。下肢静脈瘤は立ち仕事が多い人に多く見られます。予防のポイント、足に血液がたまらないようにすること。散歩したり、自転車に乗ったりして、足の筋肉をよく動かしてください」と近藤医師。

堺市内ではまだまだ専門の医院や医師が少ない状況の中、清恵会病院は近藤医師を中心として、末梢血管外科での診療実績を重ねています。また、2013年度の「地域医療連携懇談会」では、市内外の医療関係者を対象に、下肢静脈瘤のレーザー焼灼術について近藤医師が講演しました。

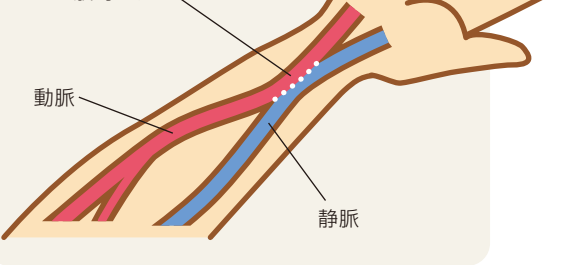
特集 血管のスペシャリスト 末梢血管外科

認定資格を持った専門医による最新のレーザー治療

治療方法としては、手術をしない圧迫療法、問題のある血管を抜去する外科手術、レーザーを使った「レーザー焼灼術」など、

シャント手術

動脈と静脈をつなぎ合わせるのが一般的です。



血液透析に欠かせないシャント造設術とは
血液内の毒素や老廃物などをろ過し、尿として体外へ排出する、いわば体内清浄フィルターの機能を果たしているのが腎臓です。この腎臓の機能が疾患などで60〜70%低下した状態を腎不全といい、長期にわたって徐々に機能が低下していく慢性腎不全になると、血液透析を行います。血液透析とは、人工腎臓である透析機と患者様の血管をつなぎ、透析機に血液を送り込んで浄化して、きれいになった血液をまた患者様の血管に戻すとい

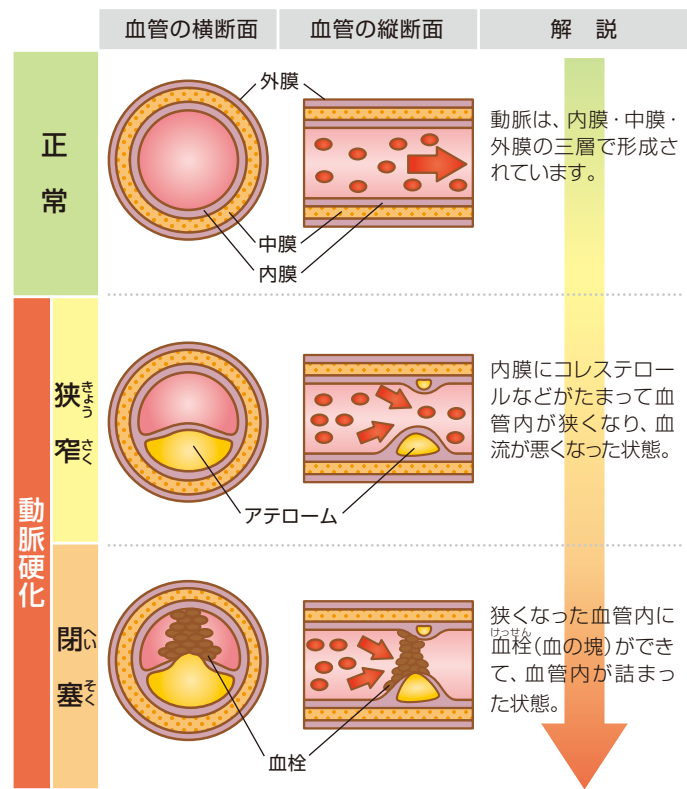
うもの。その透析に不可欠なのが、シャント造設術（シャント手術）です。血液透析の、1分間に200ml以上という血液流量を確保するには太い血管が必要のため、患者様の腕の動脈と静脈をつなぎ合わせてシャント（血管）を造設するのが一般的です。「シャント手術そのものは難しい手術ではありませんから、血管が専門ではない外科の医師でも、もちろん可能です。しかし、血液透析は1回3〜5時間、週3回、それを開始年齢によっては何十年も行いますから、シャントの劣化は免れません。長期にわたって透析を続けていくためには、何度もシャント手術をする必要があるわけです。少しでも対応年数の長いシャントをつくるためには、やはり技術が必要。末梢血管外科の医師が執刀する方がより良いと思います」と近藤医師はいいです。また、清恵会グループには透析専門外来の清恵会向陵クリニックや、透析センターを持つ清恵会三宝病院もあり、専門的かつ総合的に患者様をサポートする体制が整っています。

細分化が進む、医療の世界
医療の世界は近年、細分化・専門化が進んでいます。医師にはそれぞれ専門分野がありますが、その中でも特に得意な分野に特化して診療あるいは研究を行う傾向にあります。例えば、脳神経外科ならこの先生、循環器内科ならあの先生、といった具合に。その最大のメリットは、医師がより高度な専門知識と技術を追求することで、さらに質の高い医療を患者様に提供できるという点でしょう。近藤医師にとつてはそれが末梢血管であり、末梢血管外科という領域までカバーできるのが清恵会病院の特色です。外科だけでなく、血管を入念に調べる検査科をはじめ、さまざまな部門の専門医やスタッフが一致協力して診療を行います。



足の「動脈硬化」が、閉塞性動脈硬化症を引き起こします
末梢血管における動脈の疾患でよく見られるのが、閉塞性動脈硬化症です。動脈硬化とは、血管の壁にコレステロールなどが沈着することによって血管内が細くなったり詰まったりして、血管の弾力性が失われた状態のこと。冠動脈が硬化すれば心筋梗塞を、頸動脈や脳動脈が硬化すれば脳梗塞を引き起こす可能性があります。末梢血管の動脈が硬化して起こるこの閉塞性動脈硬化症も、特に足に多い病気です。初期症状は、血液の流れが悪くなることで冷え、しびれ、痛みなどを感じるようになります。進行すると歩行が困難になり、休みながらでなければ歩けなかったり、安静時にも足の痛みが持続するというような状態になり、重症の場合は足先が壊死することもあります。治療方法は、運動療法や薬物療法、動脈硬化によって狭くなった血管を広げる血管内治療、人工血管などを用いて血液の新しい道筋をつくるバイパス手術など、症状や年齢を考慮して

動脈硬化の状態



最適と思われる治療法を選択します。一般的に、内科の治療では対応が困難な症状を外科が担当することになりますが、清恵会病院では、血管を専門とする末梢血管外科のスタッフが治療にあたります。閉塞性動脈硬化症の原因の一つは加齢ですが、予防のために日頃から気をつける点を近藤医師に聞きました。「まずは禁煙。たばこに含まれているニコチンは動脈硬化の一因になります。そして、バランスの良い食事。コレステロールや脂

肪分の多い食物はなるべく控えましょう。この2点は、閉塞性動脈硬化症の予防に限らず心掛けたいことです。あとは下肢静脈瘤と同様に適度な運動。加えて足のケアです。血液の流れが悪くなると皮膚に栄養分が届きにくくなり、足が傷つきやすくなります。足が傷つきやすくなるので、日頃から注意して足を見るのが大切です。当院にはフットケアセンターも設置しています。足のトラブルで不安があれば、かかりつけ医にご相談の上、受診していただけます」。

あなたの血管年齢は—— 清恵会の検査

血管も老化します。足や手がしびれる、痛む、何か気になる。そのような場合は清恵会病院へかかりつけ医を通じてご相談ください。有効な検査のひとつに、血圧脈波検査があります。一般的に血管年齢の測定と呼ばれているものです。両手・両足の血圧を同時に計ることにより、血管のしなやかさや詰まり具合がわかります（ABI検査／PWV検査）。動脈硬化の進行度合いを調べるときなどにも用いられます。また、足の指の血圧を測定して、細い血管の動脈硬化が進行していないかをチェックするTBI検査や、超音波を利用したエコー検査なども行っています。

これらの検査は、検査だけの所要時間は15分程度で、痛みや運動を伴う検査ではありませんので、安心して受けていただくことができます。



か し じょうみゃくりゅう 下肢静脈瘤 予防のポイント

運動不足の人は——
散歩したり、自転車に乗ったりして、足の筋肉を動かしましょう。

立ち仕事が多い人は——
足を高くして休憩したり、寝るときもクッションなどで足を高くして、血液が心臓に戻りやすくしましょう。

運動する時間がない人、休憩中に足を上げられない人は——
いすに座ったまま、つま先やかかとを上げ下げして、ふくらはぎを張ったり緩めたりする運動をすると良いでしょう。

へい そく せいどう みゃくこう か しょう 閉塞性動脈硬化症 予防のポイント

禁煙
たばこに含まれているニコチンは血管を収縮させる作用があり、動脈硬化の一因になります。

バランスの良い食事
動脈硬化を促進する高血圧や糖尿病などの予防として、コレステロールや脂肪分の多い食物はなるべく控えましょう。

適度な運動
歩いたり、自転車に乗ったりと、無理せず自分に合った方法で適度な運動を心掛けましょう。

足の保温と保護
冷えると血液の循環が悪くなりますので、常に足の保温に気をつけましょう。また、足はいつも清潔にして、けがなどが無い毎日チェックしましょう。



医心 伝心

医の最前線から
第十五回



丸尾 進
清恵会三宝病院 院長

1979年、信州大学医学部卒業。
1982年、清恵会病院内科入局。
1986年、清恵会病院内科医長。
1996年、清恵会病院内科副部長。
2005年、清恵会三国丘クリニック院長。
2011年、清恵会三宝病院院長。

慢性期病院として、堺市北部の中核的な存在をめざす

意思疎通がかなわない 患者様の気持ちを考える

清恵会三宝病院は、リハビリや人工透析を中心とした慢性期病院です。長期入院の患者様が多く、1日の時間がゆつくりと流れていきます。脳卒中の後遺症などのため、寝たきり状態で意思の疎通ができない入院患者様も多いのですが、そういう患者様にこそ寄り添い、どういうことを望んでおられるのか、どうしてあげればいいのかを、私たちは常に考えています。ご家族の協力も必要です。遠慮なさらず、ご意見やご希望などを申し出ていただければ幸いです。

リハビリの甲斐あって、患者様が機能を回復され、退院されると大きな喜びを感じます。最近でも、脳内出血の後遺症のために経口摂取※ができなくなった高齢の男性が、嚥下訓練の成果で経口摂取可

能となり、退院された例がありました。

院内管理から外来診療、 地域との連携強化活動まで

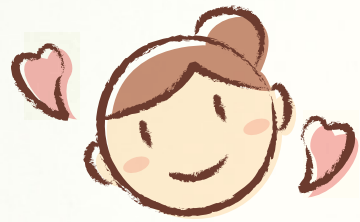
院長として、病院全体の管理業務が私の主な仕事ですが、病棟の主治医も担当しています。療養病棟を中心に30〜40名の患者様を受け持っています。また、週1回の外来診療があり、予約を中心に毎回20名ほどの患者様を診ていきます。清恵会病院に勤務していた頃は消化器疾患を専門としていましたが、三宝病院では患者様の全身を診るのが中心です。また、病院の代表としての医師会活動、地域連携室と共同して堺市内や大阪市内の慢性期病院を訪問し、医療機関同士の連携強化を図っています。三宝病院はリハビリ、人工透析、療養を中心とした慢性期病院として、堺市北部の中核的な



存在を目指しています。

院長を離れたときの私の趣味は囲碁です。一応、5段の免状を持っています。休日はインターネットでの対局を楽しんだり、スポーツジムにも通っています。そうした気分転換が、また明日への活力になります。

※経口摂取＝口から飲食物を取ること。自力で経口摂取ができない場合、点滴やチューブ（経鼻管・管からの栄養摂取は経管栄養）などで栄養を補給する。



ナース・フェイス Nurse Face

私の看護、私の思い



吉田裕子

清恵会病院 西4階病棟 看護師
主任補佐 1997年4月入職

看護師は、毎日患者さんと接する仕事です。元気になって帰られることも、そうでないことも、あります。毎日、患者さんの状態を見ながら小さな変化を捉え、この人はどうしてほいいのか、できるだけその意思に沿って看護をしたいと考えています。意識障害のある患者さんに声をかけて、うなずいてくれると、ただそれだけで嬉しいと思います。リハビリテーションや治療・看護によって「手が動くようになった」「しゃべれるよ

患者さんにご家族の笑顔を、
もっと見たいから

私が所属する病棟は、脳外科、整形外科（主に脊椎疾患）、神経内科の混合病棟です。麻痺や言語障害のある患者さんが多いため、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士と連携して看護にあたっています。急性期はご家族の不安も大きいので、患者さん本人だけでなく、ご家族も含めたケアを心掛けています。



▲ナースステーションにて看護学生に指導中

うになった」という改善が見られたときには、チームスタッフはもちろんご家族にも報告して、皆で喜び合います。患者さんやご家族が笑顔でいてくれることが何より。また、それが、私たちのやりがいでもあります。

看護師になろうと思ったのは、祖母が看護師だったから。幼い頃から憧れていて、「大きくなったら何になるの?」と聞かれれば「看護婦さん」と答えていたことを思い出します。今は、駆け出しの主任という立場になりました。主任の話があったとき、家庭や子どもなどのことが気にかかり、中途半端な事はしたくないと考え断っていました。が、今の自分にできることを頑張ってみようと思い直して引き受け、現在に至ります。残業しているスタッフを残して帰ることも多く、逆に皆に支えられているような主任ですが、そんな皆のためにもっと頑張りたい。そして、患者さんにご家族の笑顔をもっと見たいと思っています。

現在の医療は、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、診療放射線技師、臨床検査技師など、複数の医療専門職による「チーム医療」という形で実践されています。

臨床検査とは、疾患の治療・予防を目的として、疾患の原因と身体の構造や機能の変化を物理化学的手段によって調べるものです。

清恵会病院の検査科では、各科員がそれぞれの業務を責任を持って果たすことで、より正確でより質の高い検査結果を臨床側に報告するように努めています。

救急医療として、24時間・365日対応できる緊急検査も行っています。

臨床検査は大きく2つ



患者様に直接触れて生理機能を調べる生理検査と、患者様から得られた検査材料を扱って検査する検体検査の2種類に分かれます。それぞれをご紹介します。

生理検査

〈調べること〉

- 【心電図検査】 不整脈や心筋障害による虚血性心疾患など、心臓に異常がないかを調べる
 - 患者様の状態によっては、検査技師が病棟に訪問して検査
 - ホルター心電図という24時間計測の携帯型心電計での検査も実施(日常生活での不整脈の出現状況や心電図変化、血圧の変化を解析)
- 【超音波検査】 腹部と心臓の検査があり、病変の有無を調べる
- 【肺機能検査】 肺活量や努力性肺活量などを調べる。慢性呼吸器疾患や喘息発作その他、術前検査でも実施
- 【脳波検査】 てんかんや脳器質性疾患、脳梗塞など脳の機能状態を調べる
- 【神経電気生理検査】 四肢のしびれ、脱力感、その他感覚異常など、神経の機能状態を調べる
- 【筋電図検査】 筋肉の収縮状態を針電極を使って調べる。専門の医師が立ち会う
- 【血圧脈波検査】 血管の硬さや詰まり具合、血流などから動脈硬化の度合を調べる検査



清恵会病院 検査科 科長補佐
白江 秀規

クローズ
アップ!
清恵会の仕事見せます

vol.2 臨床検査室の仕事

検査科の基本方針
「常に基本を遵守し、
信頼できる結果を
速やかに報告する!」

検体検査

〈調べること〉

- 【生化学検査】 **材料** 血液・尿
心機能、肝機能、腎機能、蛋白、電解質、糖代謝、脂質代謝など
- 【血液検査】 貧血の有無、感染症や炎症等による白血球の増加、血液疾患など
※出血傾向や血栓症(心筋梗塞や脳梗塞)の予防、術前検査のための凝固検査も実施
- 【一般検査】
尿検査 尿中の蛋白や糖、潜血反応など
顕微鏡で細菌の有無、悪性細胞の有無
便検査 消化管からの出血の有無、寄生虫卵の有無
迅速検査 **材料** 鼻水・咽頭粘膜・便など
インフルエンザなど、簡易キットで検査を行い、迅速に結果を出す
- 【免疫血清検査】 ウイルス性肝炎(B、C型肝炎)、HIV、梅毒検査などを実施
- 【輸血検査】 患者様の血液と供血される輸血用血液の間で輸血適応であるかを確認
- 【病理検査】
病理組織検査 **材料** 手術中や内視鏡検査で採取された細胞や組織
顕微鏡で詳しく観察し、癌細胞の有無及び病変部位から病気の診断を行う
- 細胞診検査 **材料** 尿や喀痰、乳腺・甲状腺から採取した細胞など
顕微鏡で観察し、癌細胞の有無を調べる





スタッフ
総数 9 名

清恵会病院 地域連携室

病診連携について
～開業医との連携について～

病診連携とは、病院と診療所がそれぞれの役割や機能を分担し、患者様のために互いに連携しながら、より効率的かつ効果的な医療を提供することです。

地域と連携して患者様を支援する、清恵会グループの業務をご紹介します。

清恵会病院 医療福祉相談室

専門の相談員(医療ソーシャルワーカー)と退院調整看護師が、入院中の患者様やご家族の不安、疑問、心配事を親身になって相談に乗り、共に考え、問題を解決できるようサポートします。

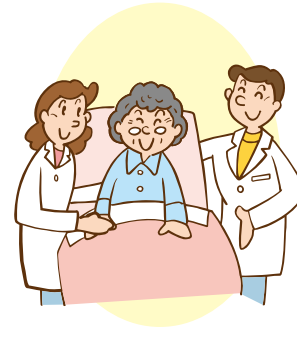


スタッフ
総数5名

退院後の生活環境を、
さまざまな面から支援します

病気を患うと、心身面の不安はもとより、生活面でもさまざまな不安や問題が生じます。医療費や生活費のこと、今まで通り仕事を続けられるかどうか、自宅療養の際の訪問看護師やホームヘルパーの利用、入院や施設入所のことなど。自分や家族の力で問題を解決できればよいのですが、それが困難なケースも発生します。

そんなときのためにあるのが、医療福祉相談室です。療養に伴う生活問題全般について、専門のスタッフが相談に応じ、問題を整理して解決方法を一緒に考えます。本年6月からは、スタッフに退院調整看護師(※1)も加わりました。退院後も病気やけが、障害などに向き合って生活していく患者様のために、地域の医療機関などと連携しながらサポートを行います。



※1 入院患者様の退院に向けた環境を整える業務を退院調整といひ、これを専門に行う看護師が退院調整看護師。看護師であるため病状等に対する理解が深く、他の医療スタッフとの連携もスムーズ。

かかりつけ医との
連携の窓口として

病診連携の核となるのは、開業医の先生です。健康や病気について日頃から気軽に相談にのじてくれる、身近な「かかりつけの先生」のことです。

かかりつけの先生は、患者様の健康状態や病状などを把握し、日常的な健康管理を行います。そして、さらに精密な検査や入院治療が必要な場合、あるいは患者様が希望された場合に、清恵会病院の各専門医へご紹介いただき、相談しながら治療を進めていきます。双方が連携して患者様の健康管理や治療にあたることで、より効果的で安心な治療を行うことができるのです。

清恵会病院の地域連携室では、地域の開業医とスムーズな連携を図る

さらに地域連携室は、
病院が提供できるサービスで、
地域における各種行事を支援しています。



▲小学校での
救急蘇生法の講習会



▲堺シティマラソン
での救護支援



▲地域の病院・開業医の
先生をお招きしての
医療連携懇談会



▲地域の恒例行事(複校区の
餅つき大会)に健康チェック
コーナー等で参加

退院支援の流れ

入院 7日目	入院 3～6日目	入院時
患者様の退院に向けた支援内容について、患者様・ご家族に説明。	退院調整看護師が病棟をラウンド(※3)。主治医、病棟看護師と意見交換。 医療福祉相談室のスタッフ(退院調整看護師含む)が、患者様・ご家族と面談して意向や希望を伺う。 医療福祉相談室内で患者様の情報を共有。	退院調整看護師が、入院時にスクリーニング(※2)を実施。 医療ソーシャルワーカーは、電子カルテ等で入院患者様の情報を収集。

退院支援の概要

①スクリーニングとアセスメント(※4)

患者様の病状と、患者様を取り巻く環境を正確に把握し、ご本人やご家族の希望をよく聞いて必要なサポートを共に考えていきます。

②退院に向けた支援内容の検討

アセスメントを継続的に実施。ご本人やご家族に病状などを詳しく説明し、退院後の生活を具体的に想定した上で、サポート内容を検討し決定します。

③退院後の支援体制の調整

ご本人と、介護するご家族をサポートするために、退院後もより良く生活できるように、地域の医療機関や介護施設などと連携して、退院ができる状態に環境を整えます。

(例)在宅介護サービスの利用、介護保険サービスや身体障害者手帳の取得、福祉用具の選定、自宅の一部改修(手すり、スロープ等)の際のアドバイスなど。

※2 退院に向けて支援が必要な患者様を選定すること。

※3 退院に向けて支援が必要な患者様の状況を把握するための情報収集。

※4 患者様・ご家族の希望を聞き、情報を共有し、必要な支援を共に考えること。

ために、直通電話を設置し、緊急入院時の窓口業務をはじめ、さまざまな連携業務を行っています。また、ベッド調整(※1)を担当することにより、患者様の受け入れから入院まで、負担の軽減を考えたサポート体制を整えています。また、逆紹介(※2)の推進として、院内掲示板や病院ホームページに登録連携医療機関の情報を掲載(※3)し、患者様にご覧いただけるよう開示しています。

医療連携は「患者様中心の医療」を行う上で欠くことのできないものです。今後も地域連携室ではチームワークとネットワークを大切に、少しでも患者様のお役に立てるよう努めます。

※1 患者様の病状に応じて適切な病棟を選定しベッドを確保すること。

※2 当院での専門治療を終えた患者様を地域の開業医へ紹介すること。

※3 現在、212の開業医が登録しています。

清恵会三宝病院の理学療法について

リハビリテーション部
理学療法科 科長代理
笠本 勝弘

清恵会三宝病院で働く理学療法士は主に、①体操や運動によって身体機能の改善をめざす運動療法、②「歩く」「立つ」「起き上がる」などの日常生活に不可欠な基本動作練習、③自宅などで快適に生活できるよう福祉機器の利用方法や住宅改修のアドバイス、④社会復帰や自立支援のお手伝い、などを行っています。

清恵会三宝病院には、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など、総勢36名のリハビリテーションスタッフがいます。理学療法士は19名が勤務しており、経験年数が20年以上のベテラン、15年～5年の中堅、3年～1年目の若いスタッ



フまで、幅広い人員構成です。経験も年齢も違うからこそ、ベテランは若いスタッフから刺激を受け、若いスタッフは中堅やベテランから確かな知識、技術、経験を学ぶという相乗効果が生まれています。また、患者様一人ひとりの症状や性格に合わせて幅広く対応できることも大きなメリットです。

同グループの清恵会病院（急性期機能病院）や介護事業部（通所リハビリ、訪問リハビリ）にも、常勤の理学療法士がいます。日頃からスタッフ間の意見交換や勉強会などを積極的にを行っていますので、



患者様の入院時から退院後の在宅生活まで、一連の流れを確認することが出来ます。その利点は、例えば患者様の退院後の生活を知ること（介護事業部と連携する。あるいは通所リハビリでの状態を確認する）、三宝病院に入院中の患者様が今後どのように改善していくのか、そのために今、何が必要で何をすべきかを常に考えながら、リハビリプログラムを作成し、実行することが出来るのです。

また、理学療法士だけでなく他の医療スタッフ（医師、看護師、メデイカルソーシャルワーカー、作業療法士、言語聴覚士等）とも連携を図りながら十分な検討も行っていますので、疾病管理や社会資源の活用なども含めた幅広い対応ができると考えています。

清恵会三宝病院は今年の11月で開院10周年を迎えます。地域住民の方々にも少しずつ、リハビリテーション病院として認知していただけるようになってきたと思います。これからも質の高いリハビリを提供し、患者様やご家族に満足していただける病院でありたいと考えています。

地域医療の未来を担う！卒業生と在校生の今

清恵会グループには二つの医療専門学院があり、卒業後も清恵会で活躍している職員が少なくありません。教員からだけでなく先輩からも臨床実習を通じて共有する医療の心と成長があります。医療の道を歩む先輩職員と在校生に語ってもらいました。

先輩職員



清恵会病院 中3階病棟 准看護師
印道 幸江

学生の頃を振り返って

准看護学科で学んだ2年間は、本当にあっという間でした。授業のない日や放課後は、看護助手として清恵会病院に勤務しました。働きながら勉強と家事をこなすのは大変でしたが、病院には卒業生の先輩が大勢いらつしやるので、いろいろと相談に乗っていただき、助けていただきました。また、クラスメートが頑張っている姿を見ると、自分一人が大変なのではないと思え、励まし合って乗り切ることができました。そして、常に私達を気にかけて、指導してくださった先生方の存在も、とても大きかったと思います。大勢の人に支えられて、充実した学生生活を送ることができました。

今の仕事について

私が所属している中3階病棟は、内科と小児科の混合病棟です。准看

成長したと思うこと

護師として働きだしてまだ1年目ですが、先輩に指導していただきながら数人の患者様を受け持ち、チームで協力して、それぞれの患者様に合わせたケアや処置を行っています。最初の頃は何をすればいいかわからず、戸惑うことばかりで、指示を仰ぐことしかできませんでした。8カ月経つてようやく、自分なりに考えて動けるようになってきたのではないかと思います。第2看護学科に進学し、学業と仕事の両立で毎日が勉強ですが、一層努力したいと思っています。

後輩へのメッセージ

授業や実習で教わることはすべて、実際の仕事につながる大切なことばかりです。頑張ってください。

在校生



清恵会医療専門学院 准看護学科
辻本 麻希

准看護学科編

My Favorite
私のお気に入り



岩盤浴
疲れがたまってきたなと感じたら、岩盤浴に行ってお気分転換しています！

私は以前、医療事務や診療助手として働いていました。しかし、一生懸命に患者様と接していても、専門性がないことから職域の限界を感じるようになりました。また同時に、患者様の役に立ちたい、心と体のケアができる看護師になりたいという気持ちがどんどん膨らんでいき、清恵会医療専門学院へ入学しようと決めました。

入学当初は、学業や実習のこと、そしてクラスに打ち解けることのできるかなどの不安もありました。でも、戴帽式などの行事や実習を通してクラスの仲間と協力し合い、また、先生方の熱い指導やサポートもあり、今では楽しく充実した学院生活を送っています。知識や技術はもちろん大切ですが、看護に一番大切なものは「心」や「人間性」だと、一年を通して学ぶことができました。この気持ちを忘れず、思いやりのある看護を心掛けたいと思います。そして、これからも、この学院に来て出会った仲間と共に学び、目標に向かって頑張りたいと思います。

社会医療法人とは

「社会医療法人」は、2006年(平成18年)に成立した第五次改正医療法において創設され、へき地や小児救急医療など、地域で特に必要な医療である「救急医療等確保事業」の提供を担う医療法人と位置付けられています。

医師不足で閉院に追い込まれる医療機関の増加、公的医療機関の経営悪化の深刻化など、「地域医療の崩壊」が社会問題化しています。救急医療等確保事業に社会医療法人を積極的に参加させて、「良質かつ適切な医療を効率的に提供」する体制を維持することを目的としています。

主要要件規定が4つあります

- ①同一親族等関係者の制限
- ②救急医療等確保事業に係る業務の実施と基準
- ③公的な運営に関する要件
- ④解散時の残余財産の帰属先の制限

同一都道府県内で事業展開する場合は都道府県知事が認定、複数県で病院を開設している場合は厚生労働大臣が認定します。

「救急医療等確保事業に係る業務の実施と基準」について

認定の条件は、所在地の都道府県が作成する医療計画に記載された救急医療等確保事業に係る業務5つのいずれかを所在地において行い、基準を満たす実績があることです。清恵会は救急医療と小児医療の要件を満たし、認定されました。

- 救急医療
- 災害時における医療
- へき地の医療
- 周産期医療
- 小児医療(小児救急医療を含む)

〈救急医療〉

実績基準：次の1または2の基準に該当すること。

1. 当該病院において時間外等加算割合が20%以上であること。
2. 当該病院において夜間等救急自動車等搬送件数が750件以上であること。

※上記は何れも直近に終了した3会計年度の実績

〈小児医療(小児救急医療を含む)〉

実績基準：次の基準に該当すること。

当該病院において6歳未満の乳幼児の時間外等加算割合が20%以上であること。

※上記は何れも直近に終了した3会計年度の実績

社会医療法人 清恵会 理事長 佐野 記久子



2014年1月、清恵会は大阪府知事から社会医療法人の認定を受けました。日々の医療活動と改革への積極的な実践が客観的に評価いただけたと受けとめています。公益性の高いグループとして、人々の健康のため、時代に、地域に応じた医療環境づくりに取り組み、社会的使命を果たしていきたいと考えております。清恵会は、私たちだけが持つ「力」で、新たな未来を切り開いて参ります。

清恵会は「社会医療法人」になりました

Topics

健康と美容の ワンポイント! アドバイス

～その3～

「腰痛」

清恵会病院 副院長・整形外科部長
清恵会三国丘クリニック 院長

坂中 秀樹



ぎっくり腰でも
絶対安静よりは
少しは動いてみて!



腰痛の治療に安静は必要か?

ベッド上安静は、従来、腰痛に対する治療手段として広く行われていました。しかし、現在では、その効果は低いとする信頼度の高い報告が多く、安静は必ずしも有効な治療法とは言えません。

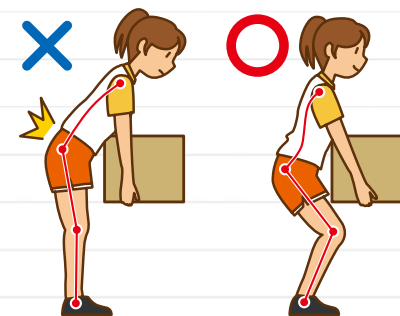
急性腰痛(発症後4週未満)に対して、痛みに応じた"活動性維持"(動ける範囲での日常生活動作)は、ベッド上安静よりも痛みを軽減し、機能を回復させるのに有効と言われています。ぎっくり腰は急性腰痛にあたります。また、職業的腰痛に対しても、痛みに応じた活動性維持は、より速い痛みの改善につながり、休業期間の短縮とその後の再発予防にも効果的であると言われています。

慢性腰痛(発症後3ヵ月以上)に対しては、運動療法は効果があると言われています。特に全身運動は長期間にわたって機能障害の軽減に有効です。また家庭で行う全身運動(エアロビクスなど)にも薬物使用量の減少や気分の改善などの効果があるといわれています。

(腰痛診療ガイドラインより)

ぎっくり腰の予防

前かがみや持ち上げ動作の際、
ようつい ぜんわん
腰椎の前弯を保持した姿勢を
とるようにしましょう。



ぎっくり腰のきっかけになった動作

- 1位 前かがみになったとき
- 2位 物を持ち上げたとき
- 3位 物を取ろうとかがんだとき
- 4位 腰をひねったとき
- 5位 その他

清恵会グループのご紹介

清恵会病院

急性期機能病院

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁2番10号

清恵会向陵クリニック

人工透析外来

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁2番11号

清恵会三国丘クリニック

専門外来【予約制】

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁4番10号

清恵会本部

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号

いずれも ☎ 072-251-8199(代)

清恵会訪問看護ステーション

訪問看護・訪問リハビリテーション

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号

☎ 072-257-6074

清恵会医療専門学院

看護師・准看護師養成校

〒591-8031 堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番地

☎ 072-259-3901

清恵会第二医療専門学院

理学療法士・診療放射線技師養成校

〒590-0026 堺市堺区向陵西町4丁5番9号

☎ 072-222-6226

清恵会三宝病院

複合型慢性期機能病院

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番地の1

☎ 072-226-8131(代)

さんさんデイケア三宝

通所リハビリテーション

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番地の1

きらきら訪問リハ三宝

訪問リハビリテーション

清恵会三宝病院 介護事業部

☎ 072-225-0066

ケアプラス(照恵商事株式会社)

居宅介護支援・訪問介護・福祉用具貸与

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁6番25号 神田ビル2階

☎ 072-259-4622

清恵会グループの
WEBサイトもご覧ください



<http://www.seikeikai.or.jp>

清恵会 検索

堺市・三国ヶ丘エリア



堺市・七道エリア

